

# CABLE KNOTS OF FIBRED KNOTS ARE FIBRED

東大理 大川 哲 介

## § 1. 定理の Statement.

$L = \cup K_i$  を  $\mu$ -components link,  $L'$  を  $L$  の  $(p_1, g_1; p_2, g_2; \dots; p_\mu, g_\mu)$ -型 cable link とする。さらに,  $p_1 = p_2 = \dots = p_\mu = p$ ,  $g_i \neq \sum_{j \neq i} \text{lk}(K_i, K_j)$  を仮定する。 ( $\text{lk}$  は linking number を示す。) 以後この記号及び仮定を通して使う。以上の仮定のもとに, 次の諸定理が成立する。

定理 1.  $L$  が fibred なら  $L'$  も fibred である。

系 iterated torus knot は fibred である

定理 2.  $\text{lk}(K_i, K_j) = 0$  ( $i < j$ ) なる仮定をさらに付け加える。  $L, L'$  の Seifert 行列を各々  $\Gamma(L), \Gamma(L')$  とすると,  $\Gamma(L')$  は次の様になる。

$$\Gamma(L') = \left( \begin{array}{cccc} \Gamma(L), & \Gamma(L) & \cdots & \Gamma(L) \\ \Gamma(L)^* & \Gamma(L) & & \vdots \\ \vdots & & \ddots & \vdots \\ \Gamma(L)^*, & \Gamma(L)^*, & \cdots & \Gamma(L) \end{array} \right) \left. \vphantom{\begin{array}{c} \Gamma(L) \\ \Gamma(L)^* \\ \vdots \\ \Gamma(L)^* \end{array}} \right\} p$$

$\underbrace{\hspace{15em}}_p$

$$\oplus (B_{p,g_1}) \oplus (B_{p,g_2}) \oplus \cdots \oplus (B_{p,g_\mu})$$

ここで、 $*$ は転置行列、 $\oplus$ は対角和、 $B_{p,g_i}$ は  $(p, g_i)$  型 torus link の Seifert 行列を表す。

系 さらに  $L, L'$  を共に knot とする。  $L, L'$  の Alexander polynomial を各々  $\Delta_L, \Delta_{L'}$  とすると、次の式が成立する。  $g = g_1$  とする。

$$\Delta_{L'}(t) = \Delta_L(t^p) \frac{(t^{pg} - 1)(t - 1)}{(t^p - 1)(t^g - 1)}$$

## §2. 記号及び規約

$$D^2 = \{z \in \mathbb{C} \mid |z| \leq 1\}, \quad \partial D^2 = S^1,$$

$$\varphi_{p,g,i} : S^1 \rightarrow D^2 \times S^1,$$

$$\varphi_{p,g,i}(z) = \left( \frac{1}{2} z^{g/\gamma} \zeta^i, \frac{1}{2} z^{p/\gamma} \right), \quad (i=0, 1, \dots, \gamma-1)$$

ここで  $p, g \in \mathbb{Z}$ ,  $p \geq 1$ ,  $\gamma = \text{G.C.D.}(p, g)$ ,  $\zeta = e^{2\pi i / \gamma}$

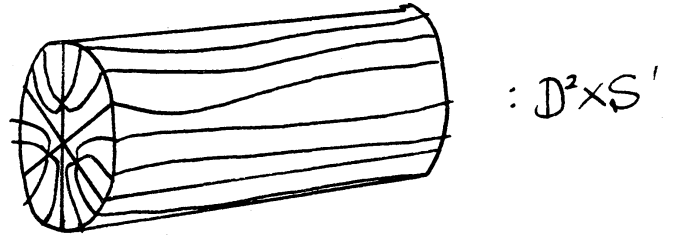
$\varphi_{p,g} = \cup_i \varphi_{p,g,i}$  を  $D^2 \times S^1$  に於ける  $(p, g)$  型

torus link と呼ぶ。  $F_{p,g} : (D^2 \times S^1 - \text{Im } \varphi_{p,g}) \rightarrow S^1$

$$F_{p,g}(\Sigma, t) = \text{Arg} \frac{z^{p-g} \Sigma^p t^{-g} - 1}{z^{p-g} t^{-g} - 1} \quad (\text{Arg: 偏角})$$

すると,  $F_{p,g}$  は fibration である。  $p=3$  の場合を  
図示すると,

右図の如くとなる。



$$L = \cup_i K_i, \quad K_i : S^1 \rightarrow S^3, \quad (i=1, 2, \dots, \mu) :$$

$\mu$ -components link,  $N = \cup N_i,$

$N_i : D^2 \times S^1 \rightarrow S^3$  を  $L$  の正則近傍で

$K_i(S^1) = N_i(0 \times S^1)$  なるものとする。

定義.  $T = (p_1, g_1; p_2, g_2; \dots; p_\mu, g_\mu) \in \mathbb{Z}^{2\mu},$

$p_1, p_2, \dots, p_\mu > 0,$  さらに  $N_i(1 \times S^1)$  が  $K_i$  の  
longitudes であるとする。 ( $i=1, 2, \dots, \mu$ ) このとき,

$L' = \cup N_i \circ \varphi_{p_i, g_i}$  を  $L$  の  $T$ -型の cable  
link と云う。

### §3. 定理の証明

定理1の証. 仮定より,

$$k_i = g_i - \sum_{j \neq i} \text{lk}(K_i, K_j) \neq 0$$

$\pi: S^3 - \text{Im } L \rightarrow S^1$  を仮定により存在する fibration, とすると,  $L'$  は  $\cup N_i(1 \times S^1)$ ,  $K_i$  を適当に取ることにより,  $L' = \cup N_i \circ \varphi_{p_i, k_i}$  の様にも表わすことが出来る. ここで 2つの fibration:

$g_p \circ \pi \circ N_i |_{\partial D^2 \times S^1}$  と  $F_{p_i, k_i} |_{\partial D^2 \times S^1}$  は  $(g_p(z) = z^p)$ , compatible であるから 最初から一致していたものと考えて良い. これらをつなぎ合わせることにより,  $L'$  の fibration を得る. Q.E.D.

定理 2 の証明  $S$  を  $L$  の Seifert surface,  $S_0 = \cup (S - \text{Im } N)$ ,  $S_i (i=1, 2, \dots, p)$  を  $S_0$  の small deformations とする. (→の向きにより自然な順番にとる) これらは  $\cup (S^3 - \text{Im } N)$  の中にあり, かつ互いに disjoint とする. さらに

$$\partial \left( \bigcup_{i=1}^{\mu} N_i (F_{p, g_i}^{-1}(1)) \right) = \bigcup_{j=1}^p \partial S_j$$

と仮定して良い. すると

$$S' = \left( \bigcup_{i=1}^{\mu} N_i (F_{p, g_i}^{-1}(1)) \right) \cup \left( \bigcup_{j=1}^p S_j \right)$$

は  $L'$  の Seifert surface となる.

$$M_{1i} = H_1(S_i), (i=1, 2, \dots, p)$$

$$M_{2i} = H_1(N_i(F_{p, g_i}^{-1}(1))), (i=1, 2, \dots, \mu) \text{ とする.}$$

但しホモロジーは全て  $\mathbb{Z}$  係数とする。すると、  

$$H_1(S) = \left( \bigoplus_{i=1}^p M_{1i} \right) \oplus \left( \bigoplus_{i=1}^m M_{2i} \right),$$

$$\langle M_{1i}, M_{2j} \rangle = 0 \quad (\forall i, j), \quad \langle M_{2i}, M_{2j} \rangle = 0 \quad (i \neq j)$$
となる。但し、 $\langle x, y \rangle = lk(x, z^+(y))$ ,  $z^+$  は  $+$  方向への押出しとする。さらに  $\langle, \rangle$  の意味を考えることにより、 $\langle M_{1i}, M_{1j} \rangle$  に対する関係行列は、  
 $i \leq j$  のとき  $\Gamma(L)$ ,  $i > j$  のとき  $\Gamma(L)^*$  と同一視される。但し  $\Gamma(L)$  は  $L$  の Seifert 行列、 $\Gamma(L)^*$  はその転置を表わす。最後に  $\langle M_{2i}, M_{2i} \rangle$  の部分であるが、これは knot  $K_i$  が trivial な位置にあるとしても、その incident 行列は不変であるから  $(p, g_i)$ -型 torus link の Seifert 行列と一致する。 **Q.E.D.**

系の証明は初等的な計算であるから省略する。

#### §4. 応用

$f \in \mathbb{C}[z_1, z_2]$  を原点に於いて既約な多項式、 $S_\varepsilon^{2n-1} = \{ p \in \mathbb{C}^n \mid |p| = \varepsilon \}$  ( $\varepsilon > 0$ : 十分小), とする。すると knot  $S_\varepsilon^3 \cap \{ z \in \mathbb{C}^2 \mid f(z) = 0 \} \subset S^3$  は iterated torus knot となり、一般には torus knot とならない。定理 1 により、この knot  $K$  の Seifert 行列は reducible だから、 $K' = \{ z \in \mathbb{C}^4 \mid f(z_1, z_2) + z_3^2 + z_4^2 = 0 \} \cap S^7$  についても同様で

ある。これは A'Campo の問題 に対する否定的な例を与える。

### References

1. N. A'Campo, Some Problems in Topology, Edited by M. Kato, Manifold Tokyo, 1973, p.421
2. Lê Dũng Tráng, Sur les noeuds algébriques, *Compo. Math*; 25(1972) pp. 283~321
3. J. Stallings. On fibering certain 3-manifolds, *Topology of 3-manifolds*, Prentis-Hall, (1962) pp. 95~100
4. M. Yamamoto, Regular projections, and Seifert matrices of iterated torus knots, to appear

Note. 定理1は Simon により, 定理2は Hacon により (knot の場合) 独立に得られていることが最近わかった。

5. J. Simon *Proc. Amer. Math. Soc.* 57 (1976), 140~142